

経済学科			山下 裕歩	大学院の授業担当 有
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	授業への集中度を向上させる取り組み	2006年4月～現在	授業時に自主作成教材を配布し、その内容を最小限に留め、授業中は板書により、自主教材を補完する。これにより、学生は手元の教材に板書内容を追加で書き込みながら講義を聴く形式となり、口頭で伝える内容への集中度が高まっているものと考えている。	
2	適度と思われる回数のレポート提出	2006年4月～現在	授業数回に一回の割合でレポートの提出を求め、レポート内容は、「様々な学説の中で自分にはどれが最も当てはまるか」という形式にした。これにより、学生が経済理論を自己の行動原理を意識しながらそれとの比較で考察することができ、理解がより深まるのではないかと考えている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	「マクロ経済学」の教材作成		マクロ経済学の授業配布用自主教材を作成した。作成にあたり以下の点に留意した。第一に、マクロ経済学の全体像を把握すること。第二に、経済現象を理解・説明するために、経済学がどのように取り組んでいるのかの方法論を明確にすること。第三に、異なる学説の比較を明確にすることである。以上を基本原則としながら、内容を基本的事項のみに限定し、付随する議論は、基本事項との関連を明確にしながら、一般の参考書や口頭・板書による解説で行った。	
2	「経済変動論」の教材作成		経済変動論の授業時配布用自主教材を作成した。経済変動を経済成長論と景気循環論に分類し、おのおのについて、細かな数学的議論に立ち入ることは最小限に留め、それぞれを系統立てて解説することに集中した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
1998年4月～現在		経済統計学会会員		
2000年4月～現在		日本経済学会会員		
2002年4月～現在		経済理論学会会員		
2007年11月～現在		世界政治経済学会(World Association for Political Economy)会員		
<b>その他</b>				